



平成22年10月29日

各位

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社
 代表者 代表取締役社長 島川 恵一郎
 (コード番号 9110)
 問合せ先責任者 企画グループリーダー 井原 隆史
 (TEL 03-6895-6291)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年7月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	125,000	7,900	6,500	4,300	21.91
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	95,106	4,796	4,053	1,215	7.50

(注) 今回発表予想(B)の1株当たり当期純利益は、平成22年3月末における発行済株式数162,000千株に10月1日付け日鉄海運株式会社との合併に伴い交付した当社の普通株式 68,764千株を織り込んだ自己株式数控除後の期中平均株式数196,300千株(見込み)により算出したものです。

修正の理由

当社は10月1日付けで日鉄海運株式会社と合併し、商号を新たにNSユニテッド海運株式会社へと変更いたしました。鉄鋼原料輸送船を中心とした運航船腹の増強、人材・財務基盤といった経営資源の強化により、企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

第3・4四半期連結会計期間につきましては、世界経済は緩やかな回復基調を維持し、外航海運市況は引き続き中国やインドをはじめとする新興国の輸送需要に支えられ全体的には堅調に推移する一方、市況変動性の高い状況は今後とも続くものと見込まれます。また、欧米の財政不安による景気減速懸念に加え、夏場以降急速に進行した円高傾向に調整の動きが見られないことから、米ドル建収入比率の高い当社にとって損益悪化が懸念されます。

このような事業環境見通しのなか、第3四半期以降は合併効果が表れることも織り込んだうえ、本年7月30日付け「平成23年3月期 第1四半期決算短信」にて「未定」としていた平成23年3月期通期連結業績予想を上述の通り修正いたします。第3・4四半期の前提条件は、対米ドル円換算率を85円、燃料油価格は内地C重油価格トン当り500ドルとしています。

なお、期末配当予想額につきましては、「平成23年3月期第1四半期決算短信」では第2四半期決算短信にてお知らせする予定としましたが、足元の円高傾向長期化による損益悪化が強く懸念される等、事業環境の見通しは依然として不透明な状況にあります。当社は年間配当の配当性向を「連結業績ベースの概ね20%」とする配当方針を合併後も変更しておりませんが、上記のような不透明な状況に鑑み、期末配当予想額は「未定」のままとし、今後、より確実な通年業績予想に基づいて公表することといたします。

以上